

(神奈川県と同日発表)

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

平成19年度大気汚染の状況について

横浜市では大気環境の状況を把握するため、大気汚染防止法に基づいて、**窒素酸化物等の常時監視**(自動測定機による連続測定)とベンゼン等の**有害大気汚染物質の測定**(毎月の定点測定)を継続的に行っています。

また、ダイオキシン類対策特別措置法に基づいて、**ダイオキシン類の測定**(年4回の定点測定)も実施しています。

このたび、これらの平成19年度測定結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

1 窒素酸化物等の常時監視測定結果概要

(1) 二酸化窒素

- ・二酸化窒素に関する環境基準の適合状況については、一般環境大気測定局(以下「一般局」という。)20局と自動車排出ガス測定局(以下「自排局」という。)8局の全局で適合しました。全局での適合は、平成17年度から3年連続です。
- ・年平均値については、一般局、自排局ともに横ばい状況で推移していましたが、平成11年度からは緩やかに改善傾向を示しています。

【二酸化窒素の環境基準適合局数の推移】 (適合局数/全局数)

年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
一般局	10/20	15/20	18/20	17/20	19/20	20/20	20/20	20/20	20/20	20/20
自排局	0/8	2/8	2/8	2/8	3/8	7/8	7/8	8/8	8/8	8/8

(2) 浮遊粒子状物質

- ・浮遊粒子状物質に関する環境基準の適合状況については、一般局20局と自排局8局の全局で適合しました。全局での適合は、平成17年度に続き2回目です。
- ・年平均値については、長期的に改善傾向にあります。

【浮遊粒子状物質の環境基準適合局数の推移】 (適合局数/全局数)

年 度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
一般局	4/20	17/20	5/20	19/20	16/20	13/20	19/20	20/20	17/20	20/20
自排局	0/8	4/8	3/8	4/8	3/8	3/8	8/8	8/8	6/8	8/8

(3) 光化学オキシダント

- ・光化学オキシダントに関する環境基準の適合状況については、測定を行った一般局19局の全局で不適合でした。
- ・光化学スモッグ注意報の発令回数は13回で、届出被害者はありませんでした。なお、平成20年度の光化学スモッグ注意報の発令回数は7月22日現在3回で、届出被害者はありません。

(4) 二酸化硫黄

- ・二酸化硫黄に関する環境基準の適合状況については、測定を行った一般局18局の全局で適合しました。全局での適合は、昭和55年度からの28年連続です。
- ・年平均値については、昭和42年度をピークに昭和50年度にかけて急激に低下し、その後も市内全域にわたって低濃度で推移しています。

(5) 一酸化炭素

- ・一酸化炭素に関する環境基準の適合状況については、測定を行った自排局3局の全局で適合しました。全局での適合は、昭和56年度からの27年連続です。
- ・年平均値については、昭和52年度以降低下し、全市的に低濃度で推移しています。

2 有害大気汚染物質の測定結果概要

- ・環境基準又は指針値が設定されている11物質に関する環境基準又は指針値の適合状況については、測定を行った一般局3局（一般環境地域1局、固定発生源周辺地域2局）と自排局2局（沿道地域2局）の全局で適合しました。なお、有害大気汚染物質の調査地点は、「一般環境地域」、「固定発生源周辺地域」及び「沿道地域」に分類されています。

3 ダイオキシン類の測定結果概要

- ・ダイオキシン類の環境基準の適合状況については、測定を行った一般局9局の全局で適合しました。

4 測定結果関係資料

資料「平成19年度大気汚染の状況」

資 料

平成19年度大気汚染の状況

1	大気汚染測定内容	1
2	窒素酸化物等の常時監視測定結果	3
3	有害大気汚染物質の常時監視測定結果	19
4	ダイオキシン類の常時監視測定結果	20
5	大気汚染に関する環境基準等	21

種 別	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	二酸化硫黄	一酸化炭素
一般環境大気測定局	○ (20局)	○ (20局)	○ (19局)	○ (18局)	—
自動車排出ガス測定局	○ (8局)	○ (8局)	—	—	○ (3局)

○印で測定

横浜市環境創造局環境科学研究所

1 大気汚染測定内容

表1 大気汚染常時監視測定局及び測定項目

種別	地点番号	測定局名	測定項目						
			二酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	二酸化硫黄	一酸化炭素	有害大気汚染物質	ダイオキシン類※ ₃
一般環境大気測定局※ ₁	1	鶴見区潮田交流プラザ	○	○	○	○	—	○	—
	2	神奈川区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	B
	3	港北区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	A
	4	中区加曾台	○	○	—	—	—	—	—
	5	磯子区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	B
	6	保土ヶ谷区桜丘高校	○	○	○	○	—	—	B
	7	西区平沼小学校	○	○	○	○	—	—	A
	8	金沢区長浜	○	○	○	○	—	—	B
	9	鶴見区生麦小学校	○	○	○	—	—	—	A
	10	中区本牧	○	○	○	○	—	○	A
	11	戸塚区汲沢小学校	○	○	○	○	—	—	A
	12	港南区野庭中学校	○	○	○	○	—	—	B
	13	旭区鶴ヶ峯小学校	○	○	○	○	—	—	A
	14	瀬谷区南瀬谷小学校	○	○	○	○	—	—	A
	15	南区横浜商業高校	○	○	○	○	—	—	B
	16	栄区上郷小学校	○	○	○	○	—	—	A
	17	緑区三保小学校	○	○	○	○	—	○	B
	18	青葉区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	A
	19	都筑区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	B
	20	泉区総合庁舎	○	○	○	○	—	—	B
自動車排出ガス測定局※ ₂	21	鶴見区下末吉小学校	○	○	—	—	—	—	—
	22	西区浅間下交差点	○	○	—	—	○	—	—
	23	港南中学校	○	○	—	—	—	—	—
	24	戸塚区矢沢交差点	○	○	—	—	—	○	—
	25	旭区都岡小学校	○	○	—	—	○	—	—
	26	青葉台	○	○	—	—	○	—	—
	27	資源循環都筑工場前	○	○	—	—	—	—	—
	28	磯子区滝頭	○	○	—	—	—	○	—

※1：以下「一般局」という。

※2：以下「自排局」という。

※3：平成19年度からは市内18区を2グループ（AグループとBグループ）に分けて測定している。

平成19年度はAグループで測定した。

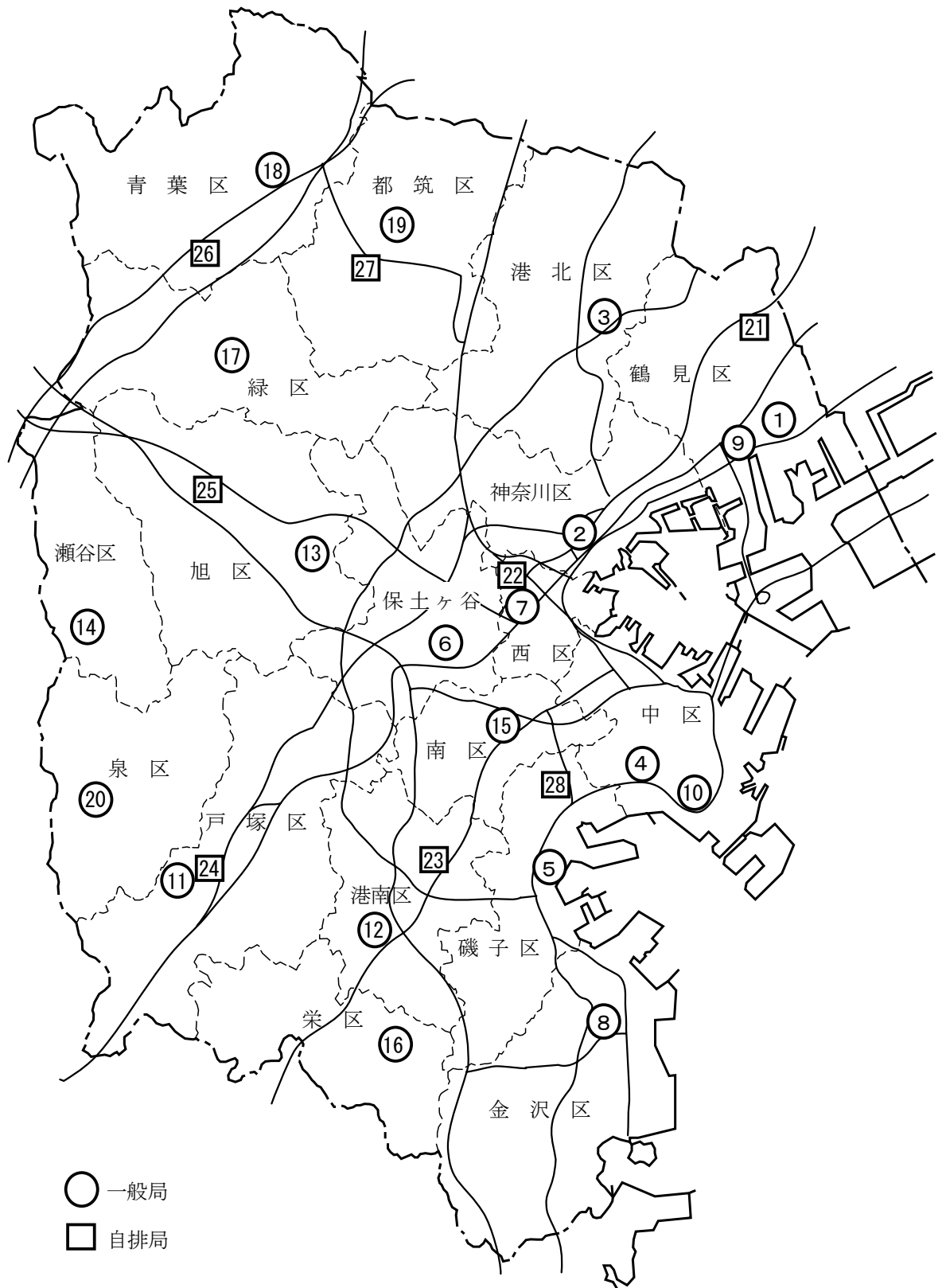


図1 大気汚染常時監視測定局の配置

2 窒素酸化物等の常時監視測定結果

表2-1 平成19年度 二酸化窒素年間測定結果（一般局）

測 定 局	年平均値	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価に よる日平均値 が0.06ppmを 超えた日数	98%値評価 による環境 基準の適否
	(ppm)	(日)	(%)	(ppm)	(日)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.025	0	0.0	0.046	0	○
神奈川区総合庁舎	0.024	0	0.0	0.046	0	○
港北区総合庁舎	0.024	0	0.0	0.047	0	○
中区加曾台	0.024	1	0.3	0.048	0	○
磯子区総合庁舎	0.025	0	0.0	0.047	0	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.022	0	0.0	0.047	0	○
西区平沼小学校	0.024	0	0.0	0.048	0	○
金沢区長浜	0.018	0	0.0	0.040	0	○
鶴見区生麦小学校	0.024	0	0.0	0.045	0	○
中区本牧	0.022	0	0.0	0.045	0	○
戸塚区汲沢小学校	0.019	0	0.0	0.042	0	○
港南区野庭中学校	0.018	0	0.0	0.040	0	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.020	0	0.0	0.046	0	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.021	0	0.0	0.041	0	○
南区横浜商業高校	0.023	0	0.0	0.044	0	○
栄区上郷小学校	0.018	0	0.0	0.041	0	○
緑区三保小学校	0.019	0	0.0	0.038	0	○
青葉区総合庁舎	0.022	0	0.0	0.040	0	○
都筑区総合庁舎	0.021	0	0.0	0.044	0	○
泉区総合庁舎	0.020	0	0.0	0.040	0	○
平 均	0.022	—	—	0.044	—	—

表 2 - 2 二酸化窒素年平均値の経年変化（一般局）

(ppm)

年 度 測 定 局	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
鶴見区潮田交流プラザ	0.037	0.033	0.036	0.036	0.032	0.030	0.029	0.029	0.027	0.025
神奈川区総合庁舎	0.039	0.036	0.037	0.030	0.031	0.031	0.029	0.029	0.027	0.024
港北区総合庁舎	0.036	0.033	0.033	0.034	0.032	0.029	0.027	0.028	0.026	0.024
中区加曽台	0.035	0.032	0.033	0.034	0.032	0.031	0.027	0.027	0.026	0.024
磯子区総合庁舎	0.039	0.035	0.034	0.029	0.029	0.029	0.027	0.028	0.027	0.025
保土ヶ谷区桜丘高校	0.033	0.030	0.031	0.032	0.026	0.026	0.024	0.025	0.024	0.022
西区平沼小学校	0.036	0.033	0.033	0.034	0.028	0.028	0.027	0.028	0.027	0.024
金沢区長浜	0.026	0.022	0.022	0.021	0.021	0.020	0.020	0.020	0.019	0.018
鶴見区生麦小学校	0.036	0.027	0.028	0.029	0.028	0.028	0.027	0.028	0.026	0.024
中区本牧	0.032	0.023	0.026	0.024	0.026	0.025	0.025	0.024	0.024	0.022
戸塚区汲沢小学校	0.029	0.022	0.021	0.022	0.023	0.023	0.021	0.022	0.021	0.019
港南区野庭中学校	0.029	0.022	0.022	0.023	0.023	0.022	0.021	0.022	0.021	0.018
旭区鶴ヶ峯小学校	0.030	0.023	0.023	0.023	0.025	0.025	0.022	0.023	0.022	0.020
瀬谷区南瀬谷小学校	0.031	0.024	0.023	0.023	0.025	0.024	0.023	0.025	0.022	0.021
南区横浜商業高校	0.033	0.028	0.028	0.027	0.027	0.027	0.025	0.026	0.025	0.023
栄区上郷小学校	0.028	0.025	0.025	0.025	0.025	0.023	0.020	0.020	0.019	0.018
緑区三保小学校	0.028	0.024	0.026	0.027	0.025	0.024	0.022	0.021	0.020	0.019
青葉区総合庁舎	0.033	0.030	0.031	0.031	0.030	0.028	0.026	0.026	0.025	0.022
都筑区総合庁舎	0.032	0.029	0.031	0.031	0.030	0.028	0.026	0.026	0.024	0.021
泉区総合庁舎	0.030	0.027	0.028	0.029	0.025	0.023	0.022	0.023	0.022	0.020
平 均	0.033	0.028	0.029	0.028	0.027	0.026	0.025	0.025	0.024	0.022

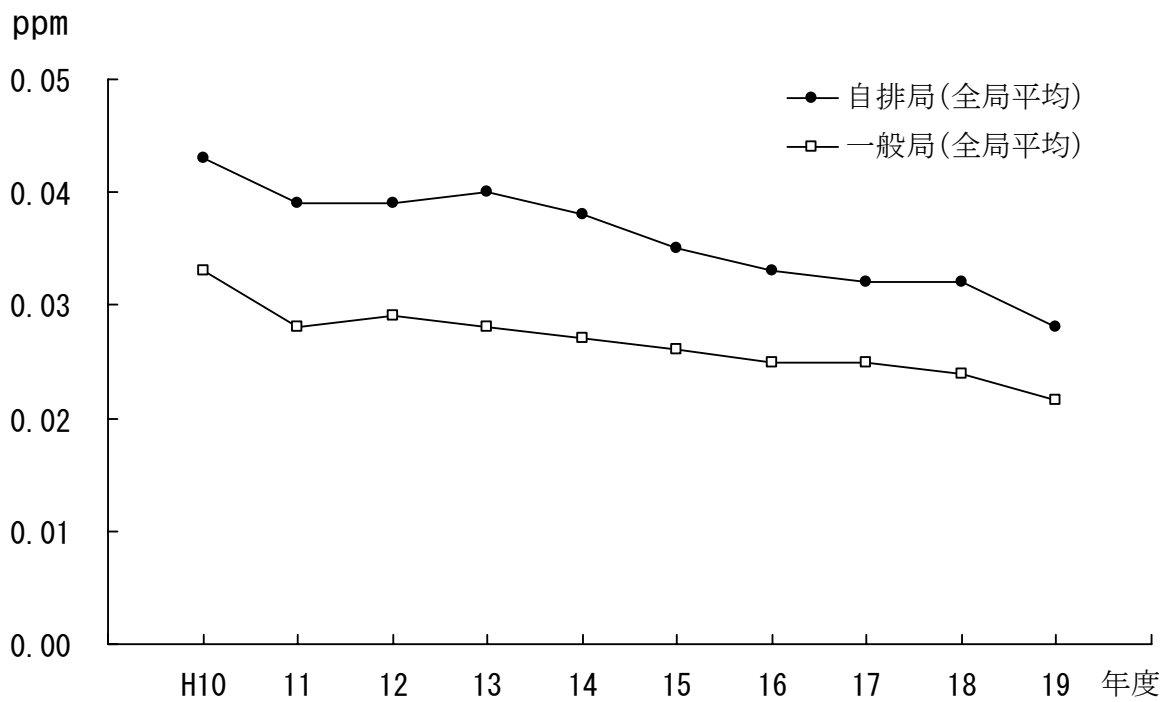


図2-1 二酸化窒素年平均値の経年変化

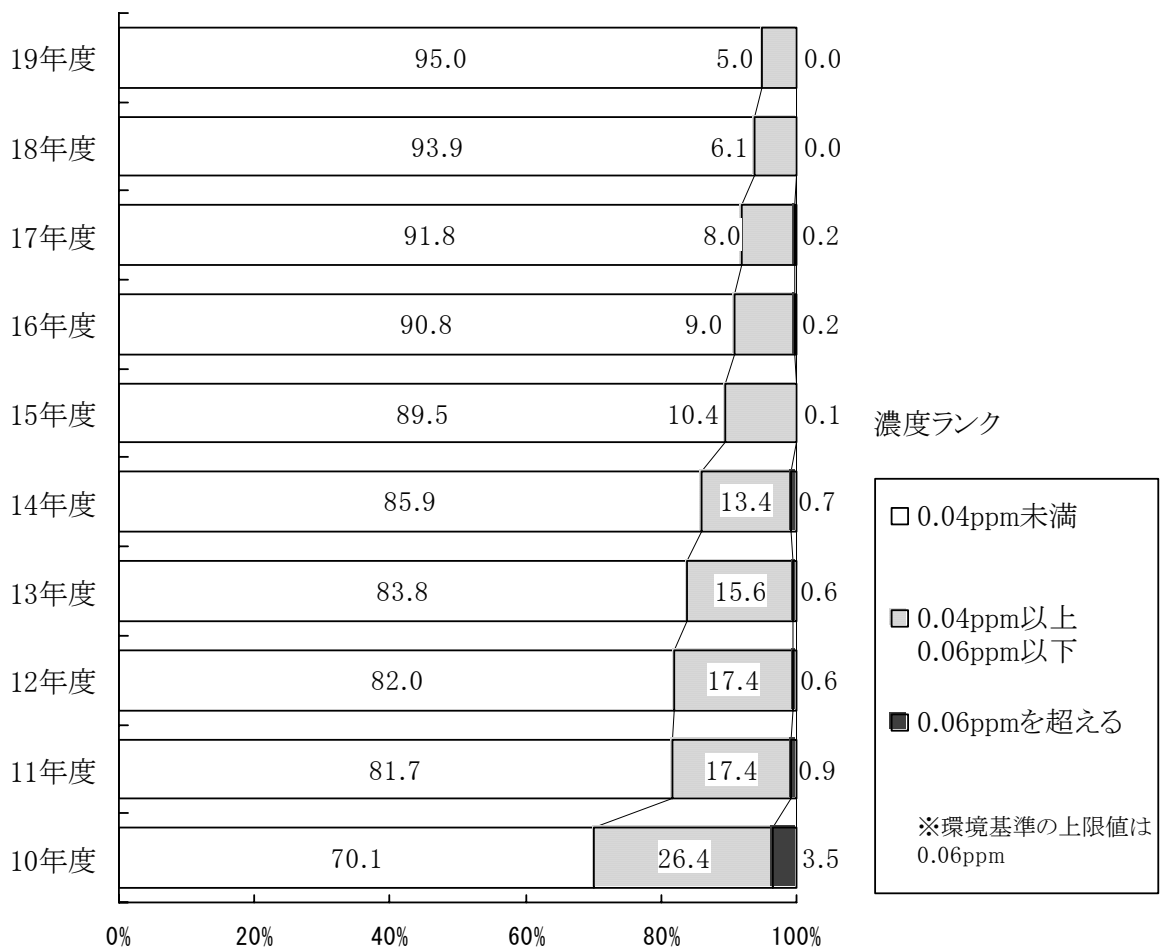


図2-2 二酸化窒素日平均値の濃度ランク別割合 (一般局全局平均)

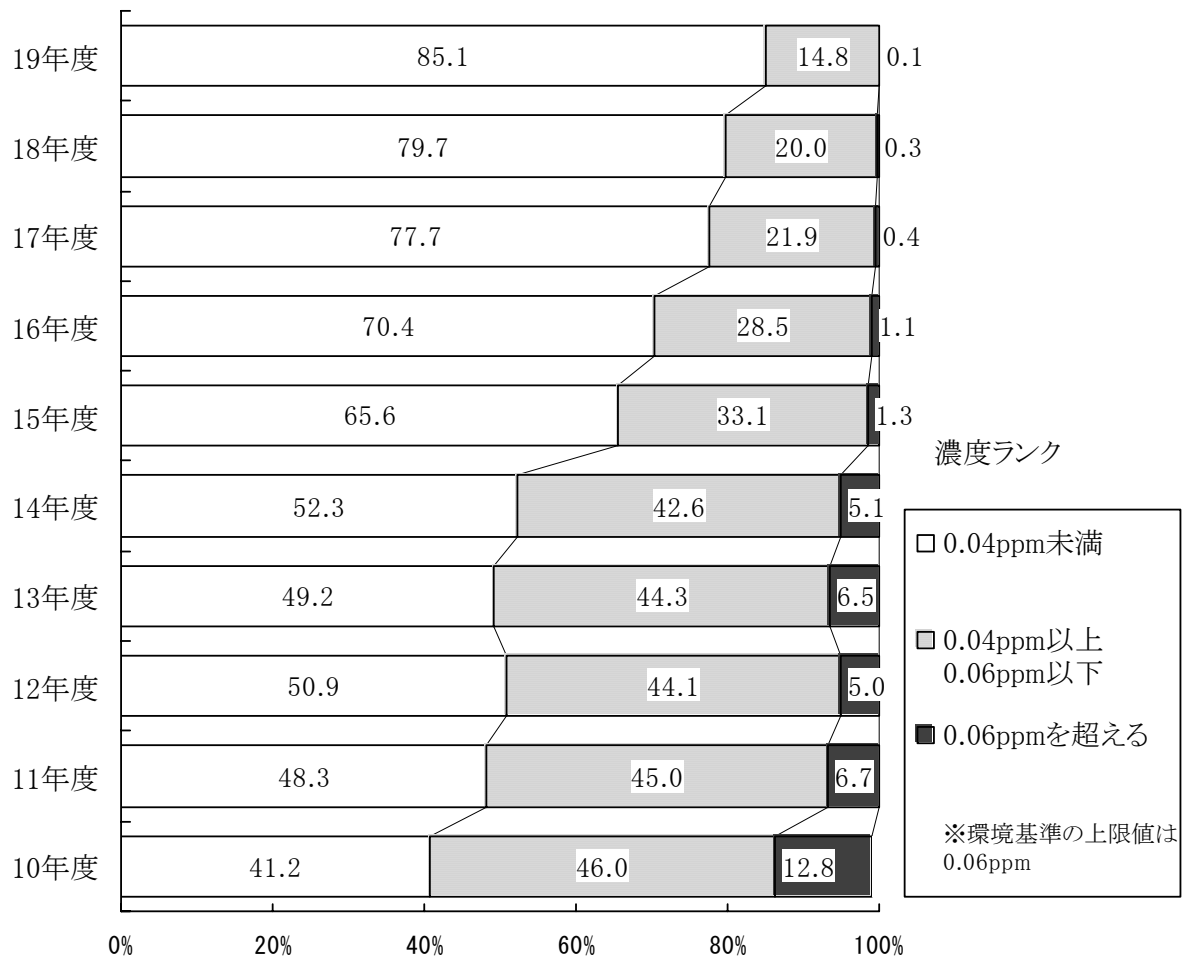


図2-3 二酸化窒素日平均値の濃度ランク別割合（自排局全局平均）

表 2-3 平成 19 年度 二酸化窒素年間測定結果（自排局）

測 定 局	年平均値	日平均値が0.06ppmを 超えた日数とその割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価に よる日平均値 が0.06ppmを 超えた日数	98%値評価 による環境 基準の適否
	(ppm)	(日)	(%)	(%)	(日)	(適○ 否×)
鶴見区下末吉小学校	0.028	0	0.0	0.050	0	○
西区浅間下交差点	0.036	0	0.0	0.054	0	○
港南中学校	0.026	0	0.0	0.048	0	○
戸塚区矢沢交差点	0.027	0	0.0	0.047	0	○
旭区都岡小学校	0.026	0	0.0	0.047	0	○
青葉台	0.029	0	0.0	0.051	0	○
資源循環都筑工場前	0.022	0	0.0	0.042	0	○
磯子区滝頭	0.031	2	0.5	0.058	0	○
平 均	0.028	—	—	0.050	0	—

表 2-4 二酸化窒素年平均値の経年変化（自排局）

(ppm)

年 度 測 定 局	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
鶴見区下末吉小学校	0.044	0.040	0.041	0.043	0.040	0.033	0.031	0.032	0.032	0.028
西区浅間下交差点	0.054	0.050	0.047	0.050	0.048	0.041	0.039	0.040	0.040	0.036
港南中学校	0.040	0.038	0.037	0.037	0.035	0.034	0.033	0.031	0.027	0.026
戸塚区矢沢交差点	0.040	0.031	0.030	0.031	0.031	0.031	0.031	0.028	0.029	0.027
旭区都岡小学校	0.043	0.040	0.039	0.040	0.038	0.037	0.030	0.030	0.029	0.026
青葉台	0.042	0.040	0.040	0.041	0.039	0.039	0.037	0.033	0.031	0.029
資源循環都筑工場前	0.034	0.032	0.033	0.033	0.030	0.028	0.027	0.025	0.025	0.022
磯子区滝頭	0.047	0.043	0.044	0.045	0.044	0.037	0.034	0.035	0.033	0.031
平 均	0.043	0.039	0.039	0.040	0.038	0.035	0.033	0.032	0.031	0.028

表 2-5 平成 19 年度 浮遊粒子状物質年間測定結果（一般局）

測 定 局	年平均値	1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数	日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を超えた 日数とその割合		日平均値の 2%除外値	長期的評価による 環境基準の適否
	(mg/m ³)	(時間)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.030	0	1	0.3	0.071	○
神奈川区総合庁舎	0.028	0	1	0.3	0.063	○
港北区総合庁舎	0.026	0	1	0.3	0.058	○
中区加曾台	0.028	0	2	0.6	0.080	○
磯子区総合庁舎	0.028	0	1	0.3	0.071	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.027	0	1	0.3	0.063	○
西区平沼小学校	0.030	0	1	0.3	0.068	○
金沢区長浜	0.027	0	1	0.3	0.073	○
鶴見区生麦小学校	0.028	3	1	0.3	0.073	○
中区本牧	0.028	0	1	0.3	0.071	○
戸塚区汲沢小学校	0.029	3	1	0.3	0.069	○
港南区野庭中学校	0.028	0	1	0.3	0.068	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.028	0	1	0.3	0.067	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.030	1	2	0.6	0.076	○
南区横浜商業高校	0.028	0	0	0.0	0.063	○
栄区上郷小学校	0.027	0	1	0.3	0.070	○
緑区三保小学校	0.028	2	1	0.3	0.066	○
青葉区総合庁舎	0.027	0	1	0.3	0.063	○
都筑区総合庁舎	0.026	0	1	0.3	0.060	○
泉区総合庁舎	0.028	0	1	0.3	0.068	○
平 均	0.028	—	—	—	0.068	—

表 2 - 6 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（一般局）

(mg/m³)

年度 測定局	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
鶴見区潮田交流プラザ	0.039	0.032	0.035	0.033	0.035	0.037	0.032	0.033	0.034	0.030
神奈川区総合庁舎	0.038	0.031	0.035	0.032	0.029	0.034	0.032	0.033	0.032	0.028
港北区総合庁舎	0.040	0.033	0.036	0.035	0.031	0.032	0.029	0.030	0.031	0.026
中区加曽台	0.035	0.029	0.033	0.031	0.029	0.032	0.031	0.034	0.033	0.028
磯子区総合庁舎	0.039	0.031	0.031	0.030	0.028	0.026	0.030	0.033	0.034	0.028
保土ヶ谷区桜丘高校	0.037	0.031	0.035	0.033	0.030	0.028	0.027	0.032	0.030	0.027
西区平沼小学校	0.043	0.038	0.038	0.039	0.033	0.031	0.027	0.034	0.035	0.030
金沢区長浜	0.028	0.024	0.027	0.025	0.024	0.022	0.020	0.029	0.028	0.027
鶴見区生麦小学校	0.042	0.036	0.038	0.037	0.034	0.034	0.030	0.032	0.032	0.028
中区本牧	0.033	0.026	0.031	0.029	0.032	0.032	0.029	0.032	0.031	0.028
戸塚区汲沢小学校	0.040	0.036	0.038	0.038	0.032	0.031	0.030	0.031	0.031	0.029
港南区野庭中学校	0.030	0.023	0.027	0.027	0.030	0.031	0.033	0.031	0.032	0.028
旭区鶴ヶ峯小学校	0.036	0.026	0.029	0.032	0.031	0.032	0.029	0.032	0.030	0.028
瀬谷区南瀬谷小学校	0.040	0.037	0.037	0.037	0.038	0.038	0.034	0.035	0.034	0.030
南区横浜商業高校	0.041	0.034	0.038	0.036	0.033	0.030	0.029	0.031	0.030	0.028
栄区上郷小学校	0.031	0.025	0.029	0.027	0.026	0.024	0.027	0.030	0.030	0.027
緑区三保小学校	0.038	0.032	0.034	0.034	0.033	0.035	0.029	0.031	0.032	0.028
青葉区総合庁舎	0.041	0.035	0.036	0.035	0.031	0.029	0.029	0.032	0.031	0.027
都筑区総合庁舎	0.037	0.031	0.033	0.031	0.029	0.026	0.027	0.029	0.029	0.026
泉区総合庁舎	0.039	0.033	0.034	0.034	0.032	0.029	0.029	0.031	0.031	0.028
平均	0.037	0.031	0.034	0.033	0.031	0.031	0.029	0.032	0.032	0.028

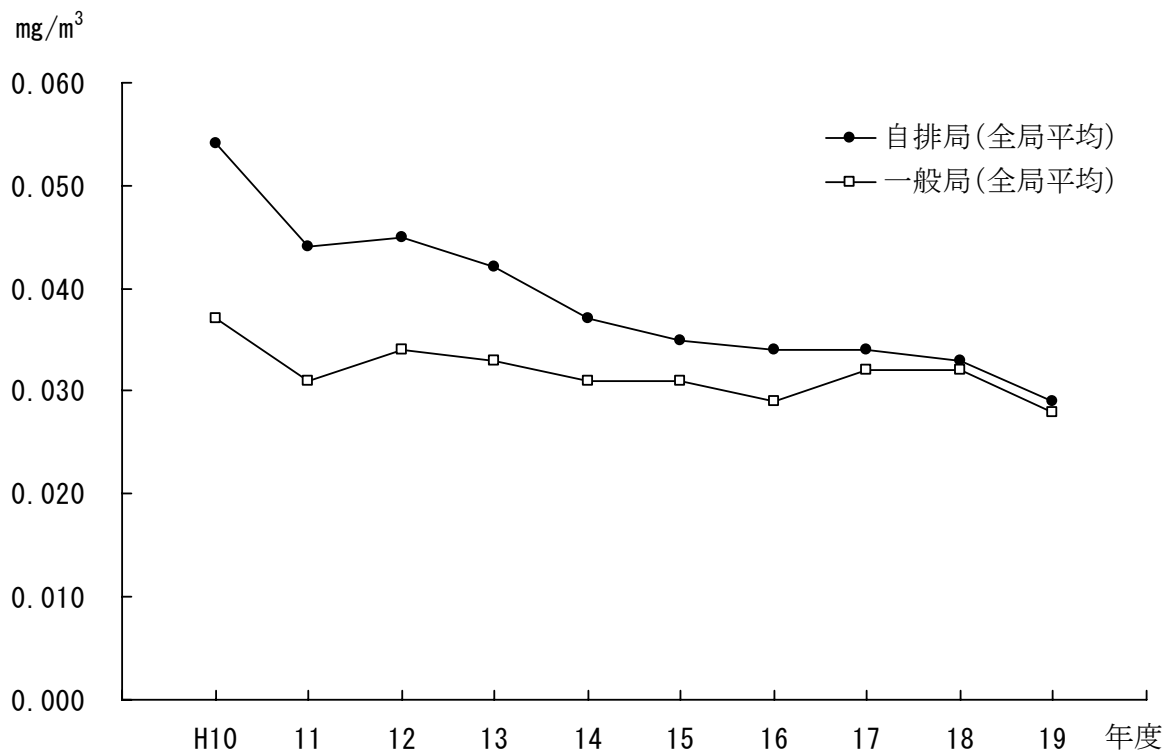


図2-4 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化

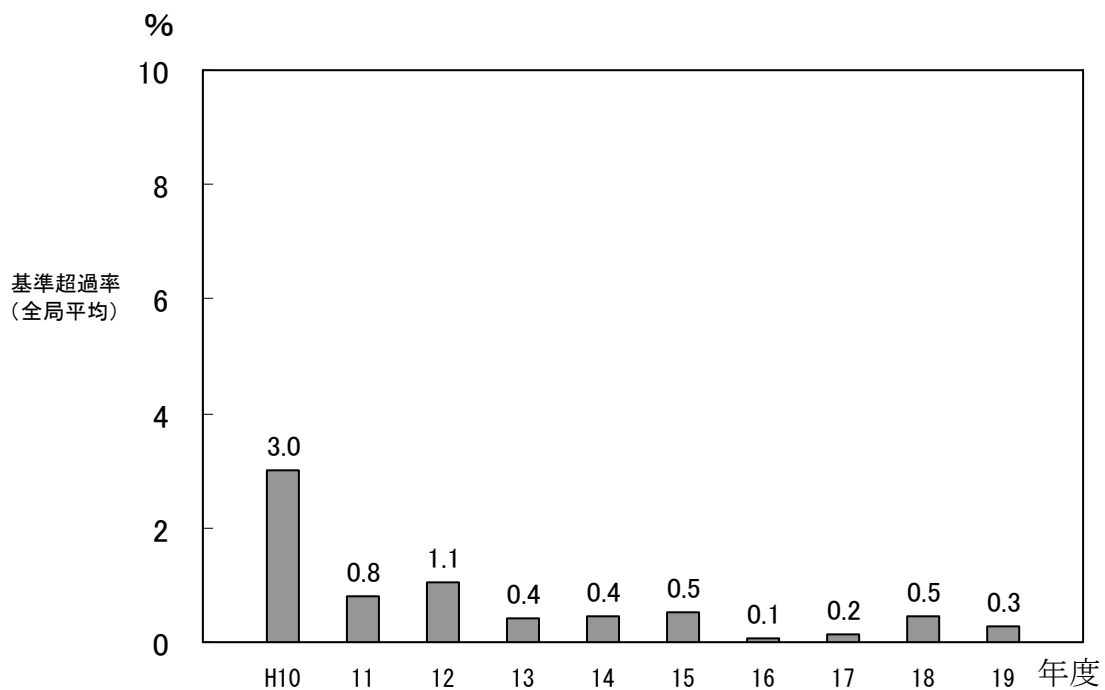


図2-5 浮遊粒子状物質日平均値が環境基準値 (0.10mg/m³) を超えた日数の割合 (一般局全局平均)

表 2-7 平成 19 年度 浮遊粒子状物質年間測定結果（自排局）

測 定 局	年平均値	1 時 間 値 が 0.20mg/㎡を 超えた時間数	日 平 均 値 が 0.10mg/㎡を超えた 日数とその割合		日平均値の 2%除外値	長期的評価による 環 境 基 準 の 適 否
	(mg/㎡)	(時間)	(日)	(%)	(mg/㎡)	(適○, 否×)
鶴見区下末吉小学校	0.029	0	1	0.3	0.066	○
西区浅間下交差点	0.031	1	1	0.3	0.071	○
港南中学校	0.029	0	1	0.3	0.067	○
戸塚区矢沢交差点	0.027	0	1	0.3	0.063	○
旭区都岡小学校	0.027	0	1	0.3	0.063	○
青葉台	0.031	0	1	0.3	0.068	○
資源循環都筑工場前	0.028	0	1	0.3	0.068	○
磯子区滝頭	0.029	0	1	0.3	0.068	○
平 均	0.029	—	—	—	0.067	—

表 2-8 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（自排局）

(mg/㎡)

年 度 測 定 局	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
鶴見区下末吉小学校	0.051	0.039	0.041	0.039	0.036	0.036	0.033	0.035	0.035	0.029
西区浅間下交差点	0.074	0.058	0.059	0.055	0.045	0.038	0.039	0.038	0.037	0.031
港南中学校	0.042	0.035	0.037	0.034	0.031	0.033	0.032	0.032	0.033	0.029
戸塚区矢沢交差点	0.044	0.038	0.038	0.036	0.034	0.033	0.032	0.034	0.030	0.027
旭区都岡小学校	0.053	0.045	0.047	0.044	0.038	0.038	0.034	0.033	0.032	0.027
青葉台	0.055	0.047	0.047	0.043	0.040	0.042	0.039	0.036	0.035	0.031
資源循環都筑工場前	0.046	0.039	0.039	0.036	0.033	0.028	0.031	0.031	0.032	0.028
磯子区滝頭	0.068	0.048	0.048	0.048	0.041	0.035	0.032	0.034	0.033	0.029
平 均	0.054	0.044	0.045	0.042	0.037	0.035	0.034	0.034	0.033	0.029

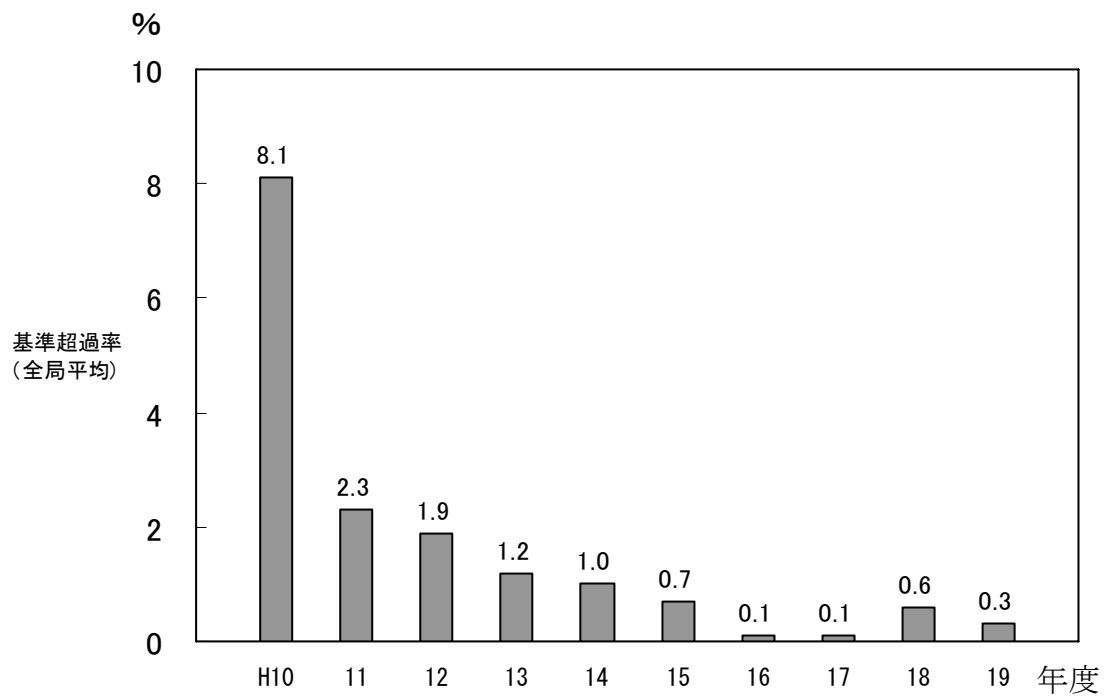


図2-6 浮遊粒子状物質日平均値が環境基準値 (0.10mg/m³) を超えた日数の割合 (自排局全局平均)

表 2-9 平成 19 年度 光化学オキシダント年間測定結果（一般局）

測 定 局	昼間の 1 時間 値の年平均値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた 日数と時間数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の 日数と時間数		昼間の 1 時 間値の最高値	環境基準の適否 (適○ 否×)
	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	(ppm)	
鶴見区潮田交流プラザ	0.023	58	230	4	7	0.181	×
神奈川区総合庁舎	0.025	63	324	4	9	0.168	×
港北区総合庁舎	0.022	43	191	3	4	0.147	×
磯子区総合庁舎	0.025	58	286	2	4	0.150	×
保土ヶ谷区桜丘高校	0.028	79	426	5	8	0.144	×
西区平沼小学校	0.027	79	429	8	12	0.148	×
金沢区長浜	0.030	93	498	5	7	0.153	×
鶴見区生麦小学校	0.024	58	232	5	7	0.169	×
中区本牧	0.026	68	327	5	6	0.149	×
戸塚区汲沢小学校	0.026	74	341	0	0	0.111	×
港南区野庭中学校	0.030	90	536	4	8	0.151	×
旭区鶴ヶ峯小学校	0.026	71	408	4	4	0.126	×
瀬谷区南瀬谷小学校	0.028	82	454	5	10	0.140	×
南区横浜商業高校	0.030	94	519	10	18	0.148	×
栄区上郷小学校	0.029	86	462	3	4	0.136	×
緑区三保小学校	0.030	102	572	7	16	0.159	×
青葉区総合庁舎	0.024	73	376	5	6	0.149	×
都筑区総合庁舎	0.027	85	469	9	15	0.179	×
泉区総合庁舎	0.029	75	454	5	12	0.139	×
平 均	0.027	—	—	—	—	—	—

表 2-10 平成 19 年度 光化学スモッグ注意報発令状況

発令回数	発令日	措置種類	発令時刻	光化学オキシダント濃度の市内最高値			市内届出被害者数	神奈川県内の他地域の発令状況
				最高値	測定局	時刻		
1	5月 9日 (水)	注意報	14:20～18:30	0.133ppm	南区横浜商業高校	(15時)	0人	川崎、横須賀、湘南、西湘、県央、北相
2	6月19日 (火)	注意報	13:20～14:30	0.128ppm	都筑区総合庁舎	(14時)	0人	川崎、県央、北相
3	6月27日 (水)	注意報	15:20～17:30	0.135ppm	泉区総合庁舎	(16時)	0人	横須賀、湘南、西湘
4	7月24日 (火)	注意報	15:20～17:00	0.139ppm	港南区野庭中学校	(16時)	0人	横須賀、西湘、県央、北相
5	7月26日 (木)	注意報	12:20～17:00	0.140ppm	瀬谷区南瀬谷小学校	(13時)	0人	川崎、県央、北相
6	7月27日 (金)	注意報	13:20～15:50	0.141ppm	南区横浜商業高校	(14時)	0人	川崎、横須賀、湘南、西湘、県央、北相
7	7月29日 (日)	注意報	15:20～16:10	0.123ppm	泉区総合庁舎	(15時)	0人	横須賀、湘南、西湘
8	8月10日 (金)	注意報	13:20～16:00	0.161ppm	鶴見区生麦小学校	(15時)	0人	川崎、北相
9	8月11日 (土)	注意報	13:20～17:00	0.181ppm	鶴見区潮田交流プラザ	(14時)	0人	川崎、湘南、県央、北相
10	8月20日 (月)	注意報	14:20～16:20	0.142ppm	西区平沼小学校	(15時)	0人	川崎、県央、北相
11	8月25日 (土)	注意報	13:20～16:30	0.159ppm	緑区三保小学校	(15時)	0人	川崎、北相
12	8月26日 (日)	注意報	12:20～15:00	0.161ppm	神奈川区総合庁舎	(14時)	0人	川崎、横須賀
13	9月22日 (土)	注意報	14:20～16:20	0.138ppm	南区横浜商業高校	(15時)	0人	川崎、横須賀

表 2-11 光化学スモッグ注意報発令回数及び届出被害者数の推移

年度 項目	昭和																	
	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
注意報発令回数	8	10	20	9	12	7	3	11	4	3	8	2	3	4	6	2	12	2
警報発令回数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
届出被害者数(人)	2,337	834	1,545	205	6,175	823	909	61	268	0	454	3	178	65	113	0	136	7

年度 項目	平成																		
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
注意報発令回数	2	5	5	10	3	8	11	5	3	4	2	6	8	6	4	10	5	11	13
警報発令回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
届出被害者数(人)	0	0	340	90	0	12	0	0	0	0	0	4	0	5	0	1	226	166	0

表 2 - 1 2 平成 1 9 年度 二酸化硫黄年間測定結果（一般局）

測 定 局	年平均値	1 時間値が 0.1ppmを超 えた時間数	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	日平均値の 2%除外値	長期的評価 による環境 基準の適否
	(p p m)	(時間)	(日)	(p p m)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.007	0	0	0.015	○
神奈川区総合庁舎	0.007	0	0	0.015	○
港北区総合庁舎	0.006	0	0	0.010	○
磯子区総合庁舎	0.006	0	0	0.012	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.005	0	0	0.009	○
西区平沼小学校	0.005	0	0	0.009	○
金沢区長浜	0.005	0	0	0.011	○
中区本牧	0.008	0	0	0.014	○
戸塚区汲沢小学校	0.004	0	0	0.007	○
港南区野庭中学校	0.005	0	0	0.008	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.005	0	0	0.008	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.004	0	0	0.007	○
南区横浜商業高校	0.005	0	0	0.009	○
栄区上郷小学校	0.005	0	0	0.008	○
緑区三保小学校	0.004	0	0	0.008	○
青葉区総合庁舎	0.005	0	0	0.009	○
都筑区総合庁舎	0.007	0	0	0.012	○
泉区総合庁舎	0.005	0	0	0.008	○
平 均	0.005	—	—	0.010	—

表 2 - 1 3 二酸化硫黄年平均値の経年変化（一般局）

(ppm)

年 度 測 定 局	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
鶴見区潮田交流プラザ	0.009	0.008	0.008	0.009	0.008	0.008	0.009	0.009	0.008	0.007
神奈川区総合庁舎	0.008	0.007	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008	0.007
港北区総合庁舎	0.007	0.007	0.007	0.008	0.007	0.007	0.007	0.007	0.006	0.006
磯子区総合庁舎	0.008	0.007	0.008	0.009	0.008	0.008	0.007	0.008	0.008	0.006
保土ヶ谷区桜丘高校	0.005	0.005	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006	0.005
西区平沼小学校	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
金沢区長浜	0.006	0.005	0.006	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
中区本牧	0.009	0.007	0.009	0.010	0.009	0.007	0.008	0.009	0.009	0.008
戸塚区汲沢小学校	0.005	0.005	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004	0.004
港南区野庭中学校	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.006	0.006	0.005
旭区鶴ヶ峯小学校	0.005	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.006	0.006	0.005
瀬谷区南瀬谷小学校	0.005	0.006	0.006	0.007	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004
南区横浜商業高校	0.006	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
栄区上郷小学校	0.005	0.005	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
緑区三保小学校	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004
青葉区総合庁舎	0.006	0.007	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
都筑区総合庁舎	0.007	0.006	0.007	0.008	0.007	0.007	0.008	0.007	0.007	0.007
泉区総合庁舎	0.006	0.005	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005
平 均	0.006	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005

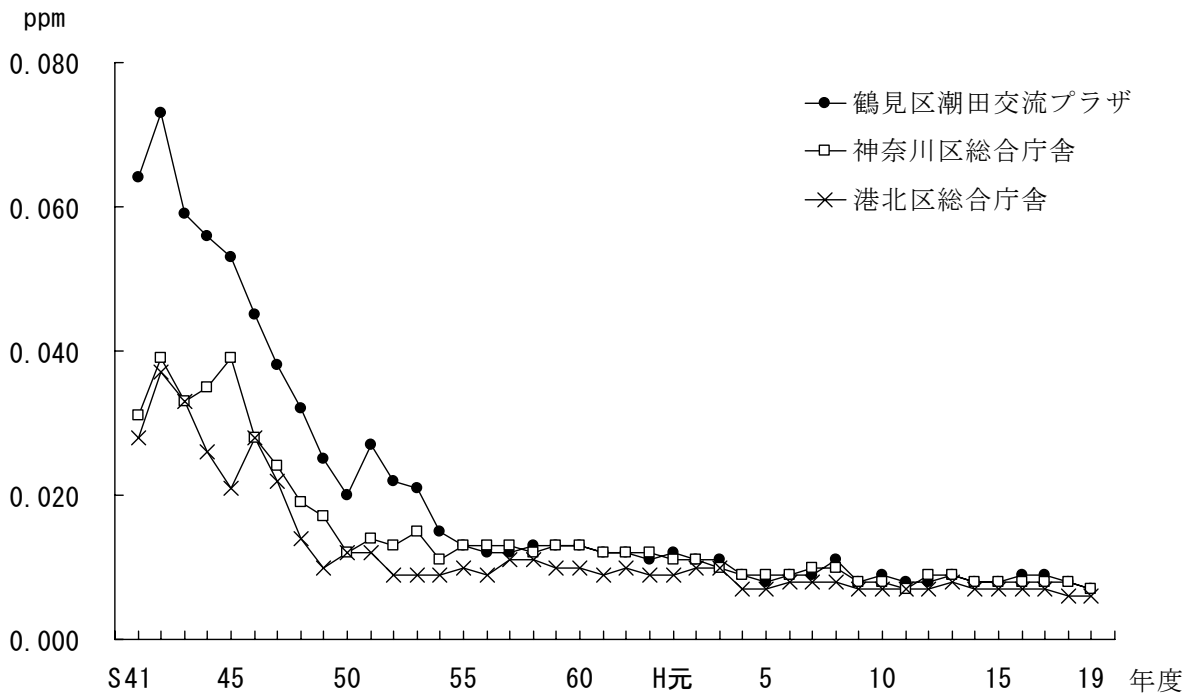


図 2-7 二酸化硫黄年平均値の経年変化（一般局継続3局）

表 2-14 平成19年度 一酸化炭素年間測定結果（自排局）

測定局	年平均値	8時間値が20ppmを超えた回数	日平均値が10ppmを超えた日数	日平均値の2%除外値	長期的評価による環境基準の適否 (適○ 否×)
	(ppm)	(回)	(日)	(ppm)	
西区浅間下交差点	1.0	0	0	1.8	○
旭区都岡小学校	0.8	0	0	1.6	○
青葉台	0.6	0	0	1.2	○
平均	0.8	—	—	1.5	—

表 2-15 一酸化炭素年平均値の経年変化（自排局）

(ppm)

年度 測定局	平成 10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
西区浅間下交差点	2.0	1.7	1.6	1.6	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0
旭区都岡小学校	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8
青葉台	1.1	0.9	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6
平均	1.5	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8

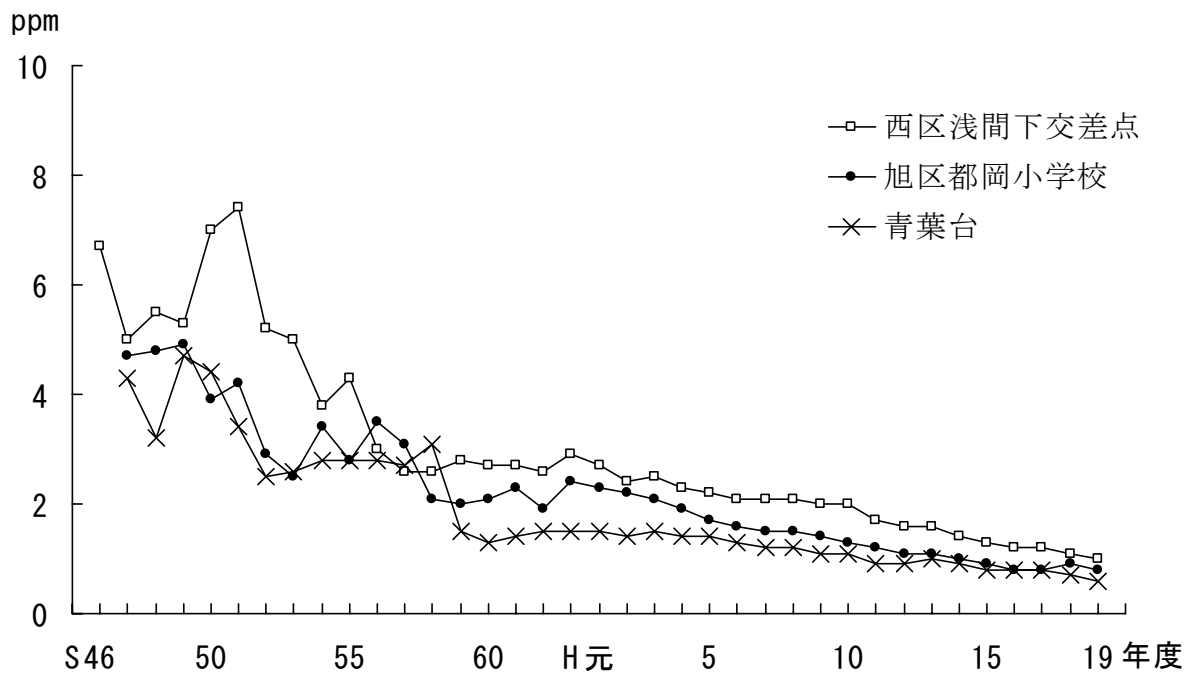


図 2-8 一酸化炭素年平均値の経年変化（自排局継続3局）

3 有害大気汚染物質の常時監視測定結果

表3 平成19年度 有害大気汚染物質測定結果

測定局 測定項目	鶴見区 潮田交流プラザ (固定発生源周辺)	中区 本 牧 (固定発生源周辺)	緑区 三保小学校 (一般環境)	戸塚区 矢沢交差点 (沿道)	磯子区 滝 頭 (沿道)	単位
ベンゼン	1.4	1.5	1.4	1.8	2.2	μg/m ³
トリクロロエチレン	1.5	0.79	0.74	0.65	0.68	
テトラクロロエチレン	0.40	0.24	0.29	0.29	0.27	
ジクロロメタン	2.4	1.1	1.6	2.4	1.2	
アクリロニトリル	0.14	0.11	0.035	0.078	0.10	
塩化ビニルモノマー	0.029	0.032	0.018	0.022	0.029	
クロロホルム	0.17	0.13	0.14	0.13	0.13	
1,2-ジクロロエタン	0.072	0.067	0.10	0.087	0.076	
1,3-ブタジエン	0.20	0.20	0.16	0.27	0.37	
アセトアルデヒド	3.0	2.0	2.2	2.2	2.5	
ホルムアルデヒド	3.9	2.7	2.8	3.1	3.6	
四塩化炭素	0.58	0.58	0.57	0.58	0.58	
1,2-ジクロロプロパン	0.12	0.047	0.041	0.045	0.055	
1,1,1-トリクロロエタン	0.080	0.073	0.077	0.084	0.077	
酸化エチレン	0.041	0.032	0.029	0.030	0.034	
ベンゾ(a)ピレン	0.23	0.31	0.22	0.30	0.35	ng/m ³
ニッケル化合物	8.2	7.3	3.9	4.8	5.4	
ベリリウム及びその化合物	0.044	0.060	0.043	0.035	0.058	
マンガン及びその化合物	25	24	21	19	23	
クロム及びその化合物	15	11	5.8	8.8	9.4	
ヒ素及びその化合物	1.2	1.0	0.98	1.0	0.88	
水銀及びその化合物	2.0	1.9	2.0	1.9	1.8	

μg : マイクログラム。1マイクログラムは、100万分の1グラム。

ng : ナノグラム。1ナノグラムは、10億分の1グラム。

4 ダイオキシン類の常時監視測定結果

表4 平成19年度 大気環境中ダイオキシン類測定結果

(pg-TEQ/m³)

測 定 局	春 5月17日 ～ 5月24日	夏 8月16日 ～ 8月23日	秋 11月15日 ～ 11月22日	冬 1月30日 ～ 2月6日	年平均値
1 鶴見区生麦小学校	0.027	0.036	0.064	0.059	0.047
2 西区平沼小学校	0.027	0.033	0.058	0.045	0.041
3 中区本牧	0.020	0.021	0.051	0.048	0.035
4 旭区鶴ヶ峯小学校	0.024	0.036	0.053	0.055	0.042
5 港北区総合庁舎	0.030	0.042	0.054	0.052	0.045
6 青葉区総合庁舎	0.024	0.026	0.048	0.048	0.037
7 戸塚区汲沢小学校	0.022	0.026	0.049	0.043	0.035
8 栄区上郷小学校	0.013	0.019	0.040	0.036	0.027
9 瀬谷区南瀬谷小学校	0.026	0.031	0.048	0.040	0.036
平 均	0.024	0.030	0.052	0.047	—

pg：ピコグラム。1ピコグラムは、1兆分の1グラム。

TEQ:「毒性等量」。異性体が多数存在するダイオキシン類の量を、ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量に換算した量として表していることを示す符号。

なお、毒性等量の換算にあたっては、平成11年度から世界保健機関の毒性等価係数WHO-TEF(1998)を用いている。

5 大気汚染に関する環境基準等

表 5-1 大気汚染に関する環境基準及び評価方法

物質	環境基準	評価方法
二酸化硫黄	日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	長期的評価 *1
二酸化窒素	日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、又はそれ以下であること。	98%値評価 *2
浮遊粒子状物質	日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	長期的評価 *1
一酸化炭素	日平均値が10ppm以下であり、かつ、8時間平均値が20ppm以下であること。	長期的評価 *1
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	昼間 *3

*1：年間の日平均値のうち、高いほうから2%の範囲にあるものを除外した後の最高値（2%除外値）を環境基準と比較して評価する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、不適合と評価する。

*2：年間の日平均値のうち、低いほうから98%に相当するものを環境基準と比較して評価する。

*3：5時～20時の測定値を対象とする。

表 5-2 有害大気汚染物質に関する環境基準

物質	環境基準
ベンゼン	年平均値が3 μg/m ³ (0.003 mg/m ³) 以下
トリクロロエチレン	年平均値が200 μg/m ³ (0.2 mg/m ³) 以下
テトラクロロエチレン	年平均値が200 μg/m ³ (0.2 mg/m ³) 以下
ジクロロメタン	年平均値が150 μg/m ³ (0.15 mg/m ³) 以下

表 5-3 有害大気汚染物質に関する指針値

物質	国の指針値
アクリロニトリル	年平均値が2 μg/m ³ 以下
塩化ビニルモノマー	年平均値が10 μg/m ³ 以下
ニッケル化合物	年平均値が25 ngNi/m ³ 以下
水銀	年平均値が40 ngHg/m ³ 以下
クロロホルム	年平均値が18 μg/m ³ 以下
1,2-ジクロロエタン	年平均値が1.6 μg/m ³ 以下
1,3-ブタジエン	年平均値が2.5 μg/m ³ 以下

表 5-4 大気に係るダイオキシン類の環境基準

物質	環境基準
ダイオキシン類	年平均値が0.6 pg-TEQ/m ³ 以下